

文学・歴史など楽しく学びませんか

戸山平成会で

【一般教養講座・戸山木曜コース】へのお誘い

毎週木曜日の午前中、大学教授や各界の専門家を講師に招いて、文学、歴史、時事問題、落語、古典、近代文学、日本の歌・世界の歌、健康問題などの講座に耳を傾け、また、月に1～2回近郊の名所・旧跡や各種施設・工場など訪れたりして、豊かな人生を送れるように、現在会員約60名で楽しく学習をしています。

さらに、館外活動は、初詣、花見、バス旅行や食事会などの行事も月に2回程度催し、楽しく会員相互の親睦を図っています。

さあ!! 週1回ご一緒に、楽しいひとときを過ごしませんか。

多くの方々のご入会をお待ちしています。

【会場】・戸山生涯学習館（1F ホール） Tel (03-3207-1181)

新宿区戸山2-11-101 戸山ハイツ住宅11号棟

【学習日程】・令和4年10月6日～令和5年2月16日

・原則として木曜日の午前10時～12時（全10回）

【応募対象】・原則として新宿区内在住又は在勤の概ね50歳以上の方

【参加費】・半期6ヶ月分で3,250円、(資料代含む)

【応募期間】・令和4年8月20日(土)～同年9月22日(木) 必着

【応募方法】A.〈往復ハガキで申し込みの場合〉

宛先: 〒160-0022 新宿区新宿6-14-1 (新宿文化センター内)

公益財団法人新宿未来創造財団 文化・学習課 (☎03-3350-1141)

葉書裏面記入: ①講座名 = 一般教養講座「戸山木曜コース」(戸山平成会)

②氏名(ふりがな) ③〒住所 ④電話番号 ⑤年齢

を明記のうえ…お申し込みください。

B.〈財団ウェブサイトから申し込みの場合〉

<http://www.shinjuku-future-creation.or.jp/>

【応募期間経過後は…】戸山平成会 会長 岡崎 Tel・fax (03-3203-2251) までお申し込みください。

〈 学習日程表は、裏面に 〉

〈付記〉

※ この事業は、企画運営団体『戸山平成会』が、公益財団法人 新宿未来創造財団 から事業支援を受けて自主的に実施する事業です。

※ 本講座申し込みに際し、公益財団法人 新宿未来創造財団 に届いた個人情報(『戸山平成会』に提供されます。また、『戸山平成会』に届いた個人情報は、公益財団法人 新宿未来創造財団 に提供します。

令和四年度・戸山平成会 学習日程表

【前期】 《参考》

【後期】

月	日	学習内容	講師(敬称略)
令和四年	7	◎ 花見 (飛鳥山公園)	
四月	14	◎ 総会・開講式	
	21	※ 話芸「落語」	落語家 真打 柳家 小せん
	28	◎ 散策 (チューリップ/昭和記念公園)	
	4月29日～5月11日 (ゴールデンウィーク 休み)		
五月	12	◎ 日帰りバス旅行 (旧軽井沢・碓氷峠アプトの道)	
	19	※ 江戸時代の事件簿	駒澤大学文学部非常勤講師 高木 謙一
	26	◎ 散策 (大宮八幡宮・和田堀公園)	
六月	2	※ 漢詩の旅	二松學舎大学・名誉教授 吉崎 一衛
	9	◎ 散策 (花菖蒲/水元公園)	
	16	※ 浮世絵 解説	塩とたばこの博物館学芸員 浮世絵研究会会員 西田 亜未
	23	※ 歌唱指導(合唱)	(ソプラノ歌手) 音楽講師 金山 美奈子
七月	7	※ 古典文学 解説	日本歴史資料研究者 齊藤 貞博
	14	◎ 總持寺見学 (鶴見)	
	21	※ 近現代小説 解説	元帝京平成大学教授 女性史・女性文学研究者 岡田 孝子
7月22日～8月24日 (夏休み)			
八月	25	※ 高齢者の健康について	東京脳神経センター 副所長 北條 俊太郎
九月	8	※ 読書で生きる	雑誌編集者 岡崎 武志
	15	◎ 東京港見学 (東京みなと丸)	
	22	9月22日 (休講日)	
	29	※ 歌謡曲の勉強	作曲家 ホイストレーナー 小西 悠史

月	日	学習内容	講師(敬称略)
十月	6	※ 近現代文学 解説	文筆業 澤田 章子
	13	◎ 一泊旅行 (黒部ダム・大町温泉)	
	20	※ 漢詩の旅	二松學舎大学・名誉教授 吉崎 一衛
	27	◎ 散策 (秋川渓谷と瀬音の湯)	
十一月	3	11月3日 (文化の日)	
	10	※ 江戸時代の事件簿	駒澤大学文学部 非常勤講師 高木 謙一
	17	◎ 散策 (九品仏)	
	24	※ 浮世絵 解説	塩とたばこの博物館学芸員 浮世絵研究会会員 西田 亜未
十二月	1	※ 江戸の歌仙絵について	人間文化研究機構 国文学研究資料館 副館長 神作 研一
	8	◎ 東京大仏・赤塚公園 (紅葉)	
	15	※ 合唱指導	俳優・歌手 (皆で唄おう日本の歌) 久里 きなこ
12月16日～1月4日 (年末・年始 休み)			
令和五年	5	◎ 初詣 (浅草七福神巡り)	
	12	※ 読書で生きる	雑誌編集者 岡崎 武志
	19	※ 時事問題 解説	読売新聞記者
1月20日～2月1日 (冬休み)			
二月	2	※ 古典文学 解説	日本歴史資料研究者 齊藤 貞博
	9	◎ 羽根木公園 (梅)	
	16	※ 近現代小説 解説	元帝京平成大学教授 女性史・女性文学研究者 岡田 孝子
2月17日～3月1日 (寒中 休み)			
三月	2	◎ 散策 (ジブリの森美術館)	
	9	◎ 歌唱指導 (合唱)	(ソプラノ歌手) 音楽講師 金山 美奈子
	23	◎ 閉講式	

(注1) ※印の講座は、新宿未来創造財団による「高齢者教養講座支援事業」を示します。(年間20回) ◎印は当会独自事業です。

(注2) 学習日程や学習内容は、講師や会場の都合などにより変更することがあります。